

視聴覚教育

刺激し合う教師

—高い評価を受けた全視研岡崎大会—

現職教育視聴覚部副部長 高橋 岩雄

……自から入つてくる映像によつて、子供たちに刺激を与えたながら、よりわかりやすく授業が進められた。発表の中でも、先生たち自身がさまざまな教材を求めて、積極的にビデオの自作に取り組んでいることがわかつた。

そのことに刺激され、私も二日後の日曜日、先輩からビデオ撮り操作の手ほどきを受け、授業に役立てたいと、脱殻の様子を撮つた。子供がどう取り組んでくれるかたのしみだ……

これは、二十一日に開かれた全国視聴覚教育研究大会に参加した、ある小学校の若い教師の記録である。

井田小学校と甲山中学校を会場としたこの大会は、他県をも含めて千人余の先生方の参加を得た。両校とも九時から公開授業と研究発表会、そして高橋（早大）、高桑（上智大）両先生の指導講評が午前中行われた。

さまざまな視聴覚機器が利用された授業では、どの教室も活気に満ちた学習が展開されて、遠来からの参観客をもうならせた。

NO147

発行日
63.11.12
発行
岡崎市 AVL
編集
広報委員会

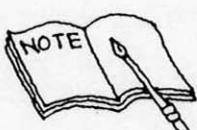
体育館での発表は、井田小では、井田小の「たくましい体と豊かな心を育てる―学習を深める視聴覚メディアの活用―」、市現職教委視聴覚部の「自作VTR教材および放送番組を利用した授業」（江坂、三浦、桑木教諭発表）について、また甲山中では、甲山中の「生氣溢れる授業の確立―視聴覚機器の活用から―」、市視聴覚部の「自作パソコン教材および放送番組を利用した授業」（高木・小川教諭発表）について、実践と成果が具体的に紹介され、参加した先生方の心を揺さぶった。

講師の両先生からも、効率的な機器の活用と、秀れた自作教材による学習展開について激賞を受けた。

今大会で、岡崎の教育が高い評価を受けたことは、市内先生方の日ごろの努力、とりわけ教育に対する互いの刺激と情熱的な取り組みに他ならない。

「岡崎だからこの大会ができた」松下関係者の驚嘆である。

午後からの「国際化を考える」研究発表、ケント・ギルバート氏の日本人觀を合わせ、子供たちが自信を持つて二十一世紀を生きるよう、私たちはいつそうの精進をしたいものである。成功に導いてくださった市および教育委員会、松下教育財団、両会場校、市内の先生方に心からお礼を申し上げる。



三、二、一、スタート

生平小学校 河上真一

校舎の増改築により、今年度スタジオ施設が整った。週一度のテレビ放送を目指して、六人の放送委員の番組作りが始まった。大きな流れとアナウンスを相談して

撮影に入る。撮影は操作の簡単な8ミリビデオを使う。他にスタジオ撮影も行う。これらをもとにスーパーを入れながら一本の番組に編集する。最後に子どもたちのお気に入りの曲を音入れ（アフレコ）する。なかなか大変な作業で、およそ十五分の番組を制作するのに編集だけで一時間はかかる。これだけの仕事を六人の子どもたちが、何度も操作を間違えながらも続けてきた。

練習がほとんどできないので、番組はすべて録画編集した物である。ここで調整卓の機能が發揮され、放送局ばかりの画面変化で、子どもたちが喜んで見入る映像に仕上げている。今までの放送では「中村先生がんばって」（産休の先生を訪問）、「初めての給食」（一年生の給食の様子）など、作っていて楽しいと感じていたようである。

今日も、スタジオでは「三、二、一、スタート」と、小さなディレクターが活躍する。



ライブラリーだより

修学旅行用16ミリ映画等巡回！

小学校向けの京都・奈良方面の教材を11月1日から11月16日まで、2ブロックに分けて巡回しています。事前指導等に、ぜひご利用ください。なお、利用期間は半日ですので、計画的に活用後、次の学校へ遅れないように巡回してください。

■16ミリ映画 BK81「学習の旅—京都—」

BK82「学習の旅—奈良—」

■スライド 「奈良・古寺の旅」60枚

（テープ付）

「京都・古都の美」

80枚

今月の教材

自作ビデオ教材

小四社 今ものこるガラ紡

先人の努力と立地条件の良さで岡崎の主要産業の一つに数えられたガラ紡も、今は見るかげもなくさびれている。このガラ紡を身近なものとしてとらえさせ、郷土の発展に尽くした先人の苦労や努力を読み取らせようとした作品

（15分）

小三社 えきではたらく人

名鉄・東岡崎駅で働くおじさんの様子をビデオ作品にしている。電車がプラットホームに到着し、発車するまでのわずかな間に、乗客の安全、正確な輸送のための努力がなされている。

（13分）